

商品名 アベロックス錠400mg 医薬品基本情報

薬効	6241 ビリドンカルボン酸系製剤	一般名	モキシフロキサシン塩酸塩錠
英名	Avelox	剤型	錠
薬価	219.70	規格	400mg 1錠
メーカー	バイエル薬品	毒劇区分	(劇)

アベロックス錠400mgの効能・効果

深在性皮膚感染症、表在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、咽頭炎、急性気管支炎、喉頭炎、肺炎、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、副鼻腔炎

アベロックス錠400mgの使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重度肝障害、QT延長、先天性QT延長症候群、低カリウム血症、クラス1A抗不整脈薬投与中、クラス3抗不整脈薬投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心血管系障害、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、不整脈を起こし易い体質、重度徐脈を起こし易い体質、急性心筋虚血を起こし易い体質、重症筋無力症、大動脈瘤の家族歴、大動脈解離の家族歴、大動脈瘤又はその既往、大動脈解離又はその既往、マルファン症候群、大動脈解離のリスク因子を有する、大動脈瘤のリスク因子を有する	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アベロックス錠400mgの副作用等

1. アナフィラキシー、血管浮腫、意識消失、咽頭浮腫、顔面浮腫、呼吸困難、じん麻疹、心室性頻拍、Torsades de pointes、不整脈の兆候、QT間隔延長、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、アキレス腱炎、腱断裂、腱障害、腱周囲の痛み、浮腫、発赤、痙攣、失神、意識レベル低下、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、劇症肝炎、肝炎、胆汁うっ滞性肝炎、著しいAST上昇、著しいALT上昇、肝機能障害、重篤な低血糖、重症筋無力症悪化、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急性腎障害、大動脈瘤、大動脈解離、間質性肺炎、過敏性血管炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. ショック、QT延長、錯乱、幻覚、精神症状、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満

3. 頭痛、浮動性めまい、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、消化不良、口渇、ALT上昇、AST上昇、カンジダ症	記載場所	その他の副作用
4. 多発ニューロパシー、注意力障害、精神病性反応、知覚過敏、不整脈、心室性頻脈性不整脈、心停止、ALP上昇、脱水、好中球減少、一時的視力喪失、筋力低下、歩行障害	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 過敏症、発疹、じん麻疹、錯感覚、睡眠障害、振戦、傾眠、不安、動悸、頻脈、高血圧、血管拡張、食欲不振、便秘、鼓腸、口内炎、ビリルビン上昇、γ-GTP上昇、貧血、白血球減少、血小板減少、好酸球増加、INR増加、回転性めまい、味覚障害、視覚障害、発汗、そう痒、無力症、疼痛、アミラーゼ上昇、関節痛、筋痛、呼吸困難、高血糖	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. アレルギー反応、感覚鈍麻、異常な夢、協調運動障害、会話障害、健忘、情動不安定、うつ病、離人症、精神運動亢進、低血圧、胃腸炎、嚥下障害、腎機能障害、APTT延長、血小板増加、INR減少、嗅覚障害、耳鳴、聴覚障害、高尿酸血症、末梢性浮腫、筋痙攣、高脂血症、関節炎	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. QT延長	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. ショック、アナフィラキシー、大動脈瘤、大動脈解離、心室性頻拍、Torsades de pointes、QT延長、流産、関節部軟骨障害、腱障害、甲状腺機能亢進、眼毒性、水晶体の被膜下皮質空胞化、網膜萎縮	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アベロックス錠400mgの相互作用

1. 薬剤名等：クラス1A抗不整脈薬

発現事象	QT延長、相加的なQT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの抗不整脈薬は単独投与でもQT延長作用がみられている	指示	禁止

2. 薬剤名等：クラス3抗不整脈薬

発現事象	QT延長、相加的なQT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの抗不整脈薬は単独投与でもQT延長作用がみられている	指示	禁止

3. 薬剤名等：副腎皮質ホルモン剤

発現事象	腱障害のリスクが増大	投与条件	-
理由・原因	-	指示	相対禁止

4. 薬剤名等：チアジド系利尿剤

発現事象	QT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が有するカリウム排泄作用により、低カリウム血症を 発現	指示	注意

5. 薬剤名等：ループ系利尿剤

発現事象	QT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が有するカリウム排泄作用により、低カリウム血症を 発現	指示	注意

6. 薬剤名等：糖質副腎皮質ホルモン剤

発現事象	QT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が有するカリウム排泄作用により、低カリウム血症を 発現	指示	注意

7. 薬剤名等：ACTH

発現事象	QT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が有するカリウム排泄作用により、低カリウム血症を 発現	指示	注意

8. 薬剤名等：グリチルリチン製剤

発現事象	QT延長、心室性頻拍＜Torsades de pointesを含む＞	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が有するカリウム排泄作用により、低カリウム血症を 発現	指示	注意

9. 薬剤名等：エリスロマイシン

発現事象	相加的なQT延長	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤ではQT間隔を延長	指示	注意

10. 薬剤名等：抗精神病薬

発現事象	相加的なQT延長	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤ではQT間隔を延長	指示	注意

11. 薬剤名等：三環系抗うつ薬

発現事象	相加的なQT延長	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤ではQT間隔を延長	指示	注意

12. 薬剤名等：アルミニウム含有の制酸剤

発現事象	本剤の吸収が低下し効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	多価の金属イオン含有製剤を併用した場合、難溶性のキレートを形成し、本剤の消化管からの吸収を減少させ、血中濃度を低下	指示	注意

13. 薬剤名等：マグネシウム含有の制酸剤等

発現事象	本剤の吸収が低下し効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	多価の金属イオン含有製剤を併用した場合、難溶性のキレートを形成し、本剤の消化管からの吸収を減少させ、血中濃度を低下	指示	注意

14. 薬剤名等：鉄剤

発現事象	本剤の吸収が低下し効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	多価の金属イオン含有製剤を併用した場合、難溶性のキレートを形成し、本剤の消化管からの吸収を減少させ、血中濃度を低下	指示	注意

15. 薬剤名等：ワルファリン

発現事象	作用を増強しプロトロンビン時間の延長	投与条件	-
理由・原因	ワルファリンの肝代謝を抑制、又はタンパク結合部位での置換により遊離ワルファリンが増加	指示	注意

16. 薬剤名等：フェニル酢酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経系におけるGABAA受容体への結合阻害が増強	指示	注意

17. 薬剤名等：プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経系におけるGABAA受容体への結合阻害が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』